

# 福部町のまちづくり構想基本計画

(素案)

意見募集用

福部町総合支所

福部地域振興会議



# 目次

## I. 福部地域の特徴

- 1. 現況及び人口等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 土地利用の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3
- 3. 市町村合併後のあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

## II. 基本計画の目的と施策の柱、構成図

- 1. 基本計画の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2. 施策の柱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 3. 構成図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

## III. 4つの柱に沿った施策

- 柱1. 「交流のための基盤づくり」に沿った施策・・・・・・・・ 7～9
- 柱2. 「にぎわいのあるまちづくり」に沿った施策・・・・・・・・ 10～12
- 柱3. 「誰もが住みよいまちづくり」に沿った施策・・・・・・・・ 13～14
- 柱4. 「災害に強いまちづくり」に沿った施策・・・・・・・・ 15～16

## IV. 計画の期間と位置づけ、進行管理

- 1. 計画の期間と位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 2. 進行管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

## V. 推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

## VI. 計画策定までのながれ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

# I. 福部地域の特徴

## 1. 現況および人口等

### (1) 現況

福部町は本市北東部に位置し、北は風光明媚な日本海、東は岩美町に境を接しています。面積は34.94平方kmで本市全体の約4.6%を占めています。地域全体が山陰海岸ジオパーク<sup>注1</sup>エリアに属し、鳥取砂丘は代表的な見どころとなっています。鳥取砂丘周辺の砂丘地では特産の「砂丘らっきょう」が栽培され、日本有数の栽培面積を誇っています。



図1: 福部町の位置図

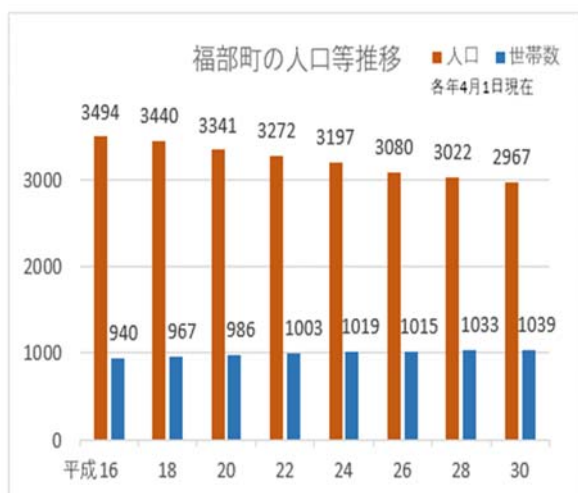


図2: 福部町の人口等の推移

### (2) 人口等

福部町の人口は、市町村合併前の平成16年は3,494人（H16.4.1旧福部村当時）でしたが、平成30年には2,967人（H30.4.1）まで減少しています。その割合は、合併後15年間で約15%減少したこととなっています。

一方、世帯数は平成16年は940世帯でしたが、平成30年には1,039世帯まで増加しています。合併後15年間で約10%増加しています。

### (3) 自治会加入率等

福部町の自治会加入率（H30.4.30）は79.9%と本市の平均65.9%より高い水準にあります。これは、他の地域と比べ、本地域には集合住宅が少ないことが要因と考えられています。しかし、近年、単身世帯の増加で全市的に自治会加入率は低下傾向にあることや、若者世帯を中心とした集合住宅への需要の高まりから、今後、何も対策を講じなければ、自治会加入率は低下する一方にあると考えられています。

注1 山陰海岸ジオパーク：鳥取県、兵庫県、京都府にまたがる、地球科学的に見て重要な自然の遺産を含む、世界ジオパークネットワークが認めた自然に親しむための公園。

#### (4) 少子高齢化の進行

市町村合併当初、福部町の年齢3階層別人口構成は市全体の平均値とほぼ同等でした。しかし、約15年を経た現在の構成は、市全体より早く少子高齢化が進行していることがうかがえます。

このことから、今後、何も対策を講じなければ、福部町の少子高齢化はますます進行し、地域の活力低下は避けられない状況となっています。

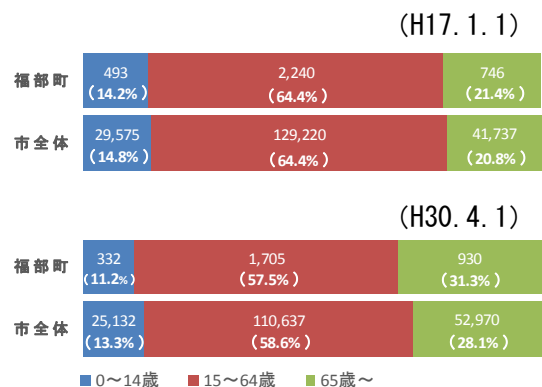


図3: 年齢3階層別人口構成

## 2. 土地利用の状況



図4: 本市の都市計画区域

### (1) 本市の都市計画区域

市町村合併前の旧福部村では、平成7年度に都市計画マスタープランを策定するとともに都市計画区域を設定し、地域の都市づくりに関する適切な土地利用規制を推進してきました。この計画区域は、市町村合併後、福部都市計画区域として新市に引き継がれています。

### (2) 福部都市計画区域

福部都市計画区域は、駅前集落から海浜部にかけての町北部が該当エリアで、土地利用方針として、おもに「都市的な生活エリア」と「自然公園及び自然環境保全地域」が設定されています。

一方、栗谷・箭溪集落から山間部にかけての町南部は、福部都市計画区域のエリア外ですが、「自然環境保全エリア」としての土地利用方針が設定されています。



図5: 福部都市計画区域

出典 図1: 福部町の位置図 [http://jichisoken.jp/publication/researchpaper/117/No.117\\_153-168.pdf](http://jichisoken.jp/publication/researchpaper/117/No.117_153-168.pdf)

### (3) 道路網の整備



図6: 道路網の整備状況



写真1: 山陰近畿自動車道



写真2: 岩美広域農道

福部町では近年、2つの道路整備が大きく前進しました。1つは福部町北部地域を横断する山陰近畿自動車道駒馳山バイパスで、この道路は、鳥取・兵庫・京都の3府県にまたがり、山陰海岸ジオパークに沿った整備が進められていることから、「ジオパークロード」の愛称で親しまれています。

もう1つは福部町南部地域を横断する岩美広域農道で、この道路は、農業経営基盤の強化や地域の活性化はもとより、災害時の広域迂回路としての機能や、周辺の観光地を結ぶ新たな観光道路として期待されていることから、「美野梨<sup>みのり</sup>ロード」の愛称で親しまれています。



写真3: 箭溪川（江川）との合流部の改修状況

### (4) 塩見川と治水

塩見川下流域では幾度となく洪水被害に見舞われ、昭和54年から河川改修工事が行われていません。

平成29年には狭く部の改修が進み、住宅への浸水被害の軽減が図られました。

### 3. 市町村合併後のあゆみ

平成16年	らっきょう販売高が10億円突破
平成17年	鳥取砂丘情報館サンドパルとっとりが開館、福部中学校体育館が完成
平成18年	岩美広域農道 上野～美歎間が開通、砂の美術館が開館
平成19年	塩見川洪水ハザードマップを作成、JA福部支店が新築
平成20年	岩美広域農道 岩美～蔵見間が開通、らっちゃんバス <sup>注2</sup> が運行開始
平成21年	鳥取・因幡の祭典 世界砂像フェスティバルが開催
平成22年	山陰海岸ジオパークが世界ジオパークに認定
平成23年	らっきょうの花が市の花に
平成24年	砂の美術館が恒久的展示施設として開館
平成25年	福部の教育を考える会が発足
平成26年	駟馳山バイパスが開通、福部郵便局が総合支所内に移転
平成27年	地域振興会議がスタート、らっきょうが販売開始100周年
平成28年	福部未来学園が開校、砂丘らっきょうがGI <sup>注3</sup> 認証取得
平成29年	岩美広域農道が全線開通
平成30年	総合支所庁舎耐震改修工事に着工



写真4:らっきょうの花（市の花）



写真5:福部未来学園

注2 らっちゃんバス：公共交通空白地有償運送制度で運行される福部町内循環バス

注3 GI：地理的表示（Geographical Indication）

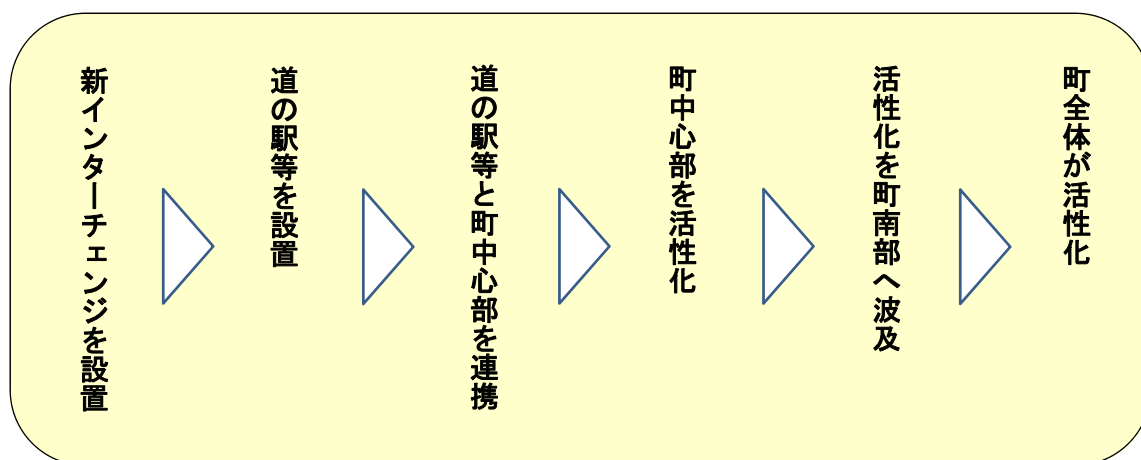
## Ⅱ. 基本計画の目的と施策の柱、構成図

### 1. 基本計画の目的

この計画は福部町のまちづくり構想（平成30年3月策定 以下、「構想という」。）の実現に向けた基本的事項を取りまとめることを目的に策定します。

山陰近畿自動車道の福部町内の適地に新インターチェンジを設置し、それを契機とした福部町全体の活性化をめざします。

計画がめざす福部町全体の活性化手順



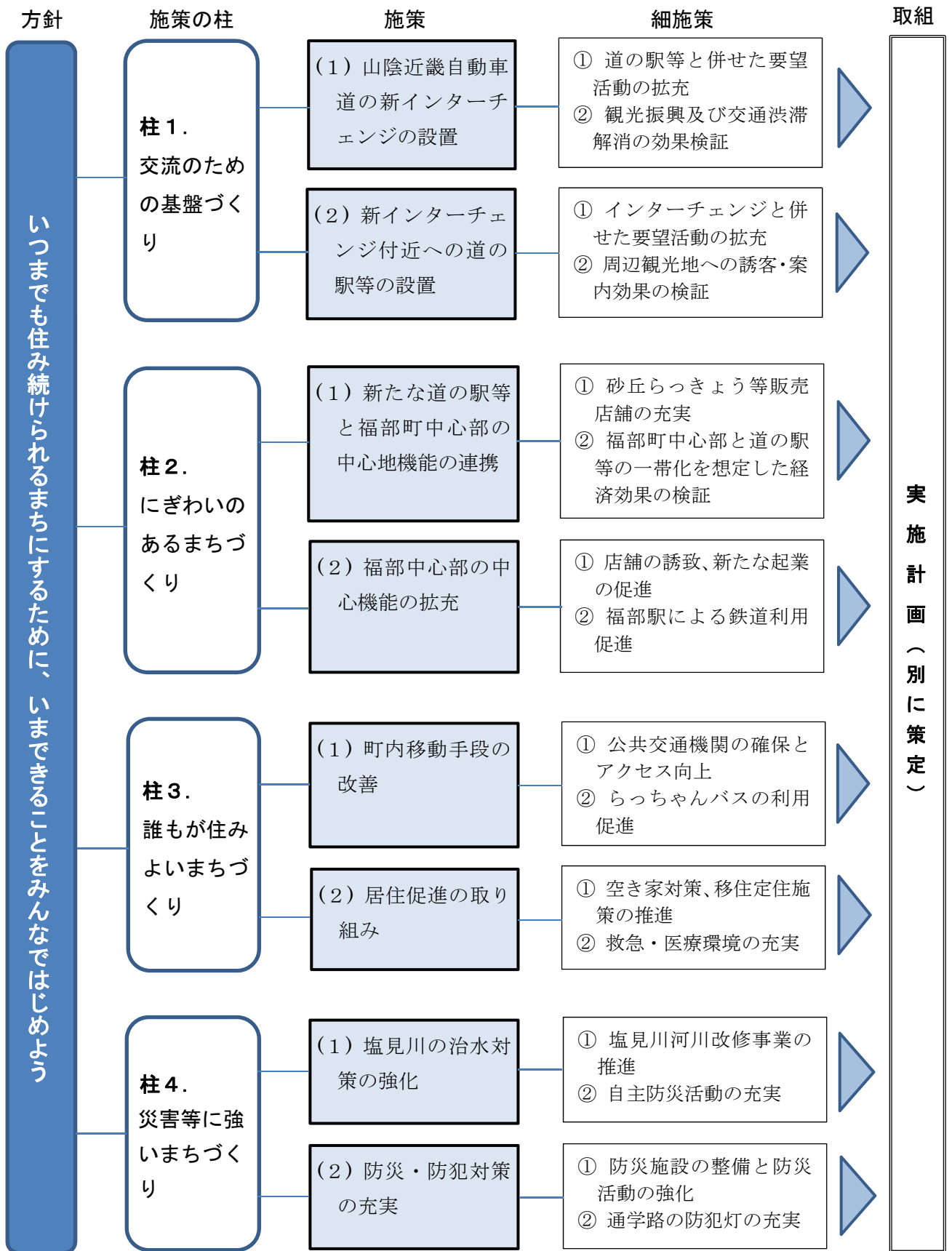
### 2. 施策の柱

構想の7つの課題に、町民の関心の高い「防災・防犯対策の充実」を加えた8つの課題を施策とします。各施策をグループ化して4つの柱にまとめます。

- ①福部町中心部の中心地機能の拡充
- ②山陰近畿自動車道の新インターチェンジの設置
- ③新インターチェンジ付近への道の駅等の設置
- ④新たな道の駅等と福部町中心部の中心地機能の連携
- ⑤町内移動手段の改善
- ⑦居住推進の取り組みについて
- ⑥塩見川の治水対策の強化
- ⑧防災・防犯対策の充実



### 3. 構成図



### Ⅲ. 4つの柱に沿った施策

4つの柱に沿った施策とその基本的な考え方は、次のとおりです。

#### 柱1. 「交流のための基盤づくり」に沿った施策

##### (1) 山陰近畿自動車道の新インターチェンジ（IC）の設置



図7: 自動車道の整備状況

鳥取県東部では、鳥取自動車道、山陰自動車道、山陰近畿自動車道が整備されていますが、近い将来、これらがすべてつながり、地域に大きな活力をもたらそうとしています。

しかし、福部町を横断する山陰近畿自動車道には、町内にインターチェンジが1か所しかなく、地域住民に利用しやすいものとなってはいません。

山陰近畿自動車道と市道福部海岸線が交差する付近に新たなインターチェンジを設置するよう、専門的組織を立ち上げ、周辺市町と連携して要望活動を展開していきます。



写真6: 山陰近畿自動車道

##### ①道の駅等と併せた要望活動の拡充

山陰自動車道浜村インターチェンジ付近には道の駅「西いなば 気楽里」の整備が進んでいます。福部町の新インターチェンジも同様に、道の駅等と併せた設置となるよう要望していきます。



写真7: 道の駅「西いなば 気楽里」

## ②観光振興及び交通渋滞解消の効果検証

平成18年に開館した砂の美術館は、平成24年に恒久的砂像展示施設としてリニューアルし、毎年40万人を超える入館者が訪れています。

併設のサンドパルとつとりは、鳥取の観光・イベント情報の発信拠点となっています。



写真8:砂の美術館

らっきょう花マラソン大会は平成30年度に第32回を迎えました。近年、福部町では鳥取マラソンやトライアスロン大会なども開催されるようになり、福部町は県内有数のスポーツイベントの開催地となっています。



写真9:らっきょう花マラソン

鳥取砂丘周辺では、パラグライダーやサンドボードといったアウトドアスポーツに加え、最近では、砂丘ヨガやファットバイクといった新たなアクティビティも誕生し国内外から注目されています。



写真10:砂丘YOGA

上記のとおりですが、行楽シーズンには、砂丘周辺の道路は渋滞となり、観光客のみならず地域住民の生活にも影響が出ています。新インターチェンジの設置が、観光振興および交通渋滞解消に効果があるか検証を進めるとともに、駐車場を拡充するなど渋滞対策を強化します。



写真11:交通渋滞の状況

出典 写真10:砂丘YOGA <https://www.sand-dunes-yoga.com/gallery>

出典 写真11:交通渋滞の状況 <https://ameblo.jp/ranchu0407/entry-12372266482.html>

## (2) 新インターチェンジ付近への道の駅等の設置

岩美町の道の駅「きなんせ岩美」には、コンビニエンスストアやJAの支店、スーパーマーケット、ガソリンスタンドが併設され、地域の生活拠点となっています。



写真12: きなんせ岩美

近年、道の駅には温泉やデイサービスセンターを併設した施設も見られるようになりました。

福部町が設置をめざす新たなインターチェンジ付近には、展望浴場のある砂丘温泉ふれあい会館などがあることから、これらの施設との連携についても検討を進めます。



写真 13: 展望浴場

### ①インターチェンジと併せた要望活動の拡充

道の駅は災害時の防災拠点としての役割も期待されています。道の駅等設置にあたっては、観光面のみならず、防災や福祉といった多様な観点で要望活動を拡充していきます。



写真14: 道の駅での防災訓練

### ②周辺観光地への誘客・案内効果の検証

きなんせ岩美は山陰近畿自動車道岩美ICから約1キロ離れたところにあります。アンケート調査や交通量調査を実施して、周辺の観光施設への誘客・案内効果について検証します。



写真 15: 岩美 I C 周辺

## 柱2. 「にぎわいのあるまちづくり」に沿った施策

### (1) 新たな道の駅等と福部町中心部の中心地機能の連携

#### ①砂丘らっきょう等の販売店舗の充実

福部町でらっきょうの生産が始まって100年余。幾多の苦難を乗り越えた先人たちの営みを顕彰するとともに、歴史を振り返る施設を福部町内に充実させます。



写真16:らっきょう収穫状況

らっきょうは各家庭で味付けが違う滋味に富んだ食材です。福部町内でらっきょうの試食や漬け方が学べる施設の充実を進めます。

道の駅等の設置にあたっては、らっきょう漬け体験などで観光客と地域住民が交流できる施設をめざします。



写真17:らっきょう漬け方講習

#### ②福部町中心部と道の駅等の一体化を想定した経済効果検証

あがた  
県交差点から駅前交差点までの県道には、住民に親しまれるような愛称がまだ付けられていません。道路に愛称を付け、地域住民のボランティア活動への参画を進めるとともに、歩道周辺の耕作放棄地の利活用を検討します。



写真18:ボランティアロード

出典 写真14:道の駅での防災訓練 <http://net.keizaikai.co.jp/archives/10525>

出典 写真17:らっきょう漬け方講習 <http://www.tt.zennoh.or.jp/news/2018/573381.html>

出典 写真18:ボランティアロード <http://www.pref.kyoto.jp/doroka/sawabora.html>

## (2) 福部町中心部の中心機能の拡充

### ①店舗の誘致、新たな起業の促進

コンビニエンスストアでの行政サービスの増加や、公共施設の更新問題を踏まえ、庁舎にコンビニエンスストアを併設する自治体が増えていきます。

福部町でも総合支所にコンビニエンスストアが併設できないか検討します。



写真19: コンビニ併設庁舎

青谷町では、旧日置小学校の空き校舎を活用した植物工場が青谷ブランドの野菜出荷に取り組んでいます。

福部町でも福部未来学園中学校校舎や機能移転後のコミュニティセンターの利活用について、検討を進めます。



写真 20: 空き校舎の植物工場

岩戸漁港では、海女の就業を契機に朝市が開催されるなど活性化が進んでいます。岩戸産の魚介類の高付加価値化を支援します。



写真21: 岩戸漁港朝市

福部町中心部や砂丘周辺で軽トラ市のようなイベントが定期的には開催できないか検討を進めます。



写真22: 軽トラ市

## ②山陰本線福部駅による鉄道利用促進

福部駅は明治43年に塩見駅として開業し、昭和24年に福部駅へ改称、昭和47年の無人駅化を経て、現在に至っています。

駅周辺は見晴らしが良く、ホームからは、遠くにらっきょう畑を見ることができます。



写真 23: 福部駅

全国的に駅や鉄道を地域資源としたさまざまなまちづくりが行われています。福部町でも福部駅周辺におしゃれなカフェやにぎわいの拠点が設置できないか、調査・研究を進めます。



写真24: 森の列車カフェ

海外にも多くのファンがいる児童書「こんとあき」は鳥取砂丘が舞台の絵本です。市立図書館の貸出カードやわらべ館の壁画に描かれ、市民に親しまれています。

鳥取砂丘に一番近い福部駅のPRに活用できないか調査・研究を進めます。



写真25: こんとあき

米子空港は米子鬼太郎空港に、鳥取空港は鳥取砂丘コナン空港に愛称設定され、国内外に知られています。

福部駅にも地域住民や観光客に親しまれる新たな愛称が命名できないか検討します。



写真 26: 鳥取砂丘コナン空港

出典 写真21: 岩戸漁港朝市 <https://tottori.uminohi.jp/>

出典 写真22: 軽トラ市 <http://yasuda.hatenadiary.jp/entry/2018/04/12/104945>

出典 写真24: 森の列車カフェ <https://www.kantenkan.net/>

### 柱3. 「誰もが住みよいまちづくり」に沿った施策

#### (1) 町内移動手段の改善

##### ①公共交通機関の確保とアクセス向上

らっちゃんバスの経路を見直すとともに、日交バスや鉄道との連携について再検討を行います。これらをつなぐ新たな移動手段についても検討します。



写真27:らっちゃんバス

##### ②らっちゃんバスの利用促進

らっちゃんバスの車内に地域住民の作品を展示するなど、住民参加型の取り組みを推進し、バスの利用を促進します。また、福部駅から鳥取砂丘への観光客が増加しつつあることから、らっちゃんバスを観光客用に活用することや土日祝日の利用についても検討します。



写真28:バス車内での作品展示

長崎県諫早市では、特産品のフルーツをかたどったバス停がお目見えして話題となっています。同様の取り組みが福部町でも実現できないか調査・研究を進めます。



写真29:フルーツバス停

出典 写真28:バス車内での作品展示 <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/koutsuu/08200164.html>

出典 写真29:フルーツバス停 <http://www.yoshitsugu.co.jp/>



## (2) 居住促進の取り組み

### ①空家対策、移住定住施策の促進

本市は各地域にお試し住宅を整備して田舎暮らしを推進しています。福部町では多鯉ヶ池のほとりに施設があり、市内への移住を検討される多くの方に利用されています。

今後、民宿を活用した体験型ゲストハウスの充実や民泊の推進についても検討を進めます。



写真30: お試し住宅

免許返納などで高齢者の買い物手段が失われるように、関係機関が連携して移動販売の充実に努めます。併せて、高齢者の見守り活動や集いの場の設置についても検討を進めます。



写真31: 移動販売車

### ②救急・医療環境の充実

鳥取県立中央病院の建て替えにより、今後、県東部の医療体制はますます充実します。いのちの道としての山陰近畿自動車道の利便性をさらに向上させるため、新インターチェンジの設置と鳥取～福部間のミッシングリンク<sup>注4</sup>解消を強く要望していきます。



写真32: 鳥取県立中央病院

---

出典 写真31:移動販売車 <http://www.iwami.gr.jp/item/8374.htm>

注4 ミッシングリンク：高速道路網の未整備区間

## 柱4. 「災害に強いまちづくり」に沿った施策

### (1) 塩見川の治水対策の強化等

#### ①塩見川河川改修事業の実施

塩見川の河川改修の進捗により福部町総合支所周辺の治水対策は向上しました。しかし、全国的に豪雨災害は、依然、増加傾向にあることから、引き続き、内水排除など治水対策の強化に取り組めます。



写真33: 以前の塩見川水害状況

また、塩見川下流域における耕作放棄地の保水・遊水機能の利活用について、水鳥公園や親水公園の例を参考に研究を進めます。



写真34: 米子水鳥公園

塩見川上流域に位置する福部町南部には豊かな水田が広がっています。「天然のダム」とも呼ばれる水田の保水機能を維持するためにも、町全域の耕作放棄地の解消に努めます。



写真35: 清内谷集落の棚田

---

出典 写真35: 清内谷集落の棚田 <http://furusato-kakashi.net/photoguide-tottori.html>

出典 写真36: 防災無線 [https://www.town.aichi-togo.lg.jp/jinji/photodiary/h27\\_suibou.html](https://www.town.aichi-togo.lg.jp/jinji/photodiary/h27_suibou.html)

出典 写真38: 水防訓練 [https://www.town.aichi-togo.lg.jp/jinji/photodiary/h27\\_suibou.html](https://www.town.aichi-togo.lg.jp/jinji/photodiary/h27_suibou.html)

出典 写真39: 防犯灯 <http://www.hiroshimakasei.co.jp/index.php?page=101>

## (2) 防災・防犯対策の充実

### ①防災施設の整備と防災活動の強化

地域住民や観光客へ防災情報を伝える手段として、屋外スピーカー施設の充実を図ります。

また、防災無線のデジタル化に伴う対応で、地域内情報伝達設備の更新を進めます。



写真36: 防災無線

砂丘温泉ふれあい会館は、福部地域の避難場所として指定されています。今後、防災機能を拡充し、災害に強いまちづくりを進めます。

また、砂丘周辺の観光施設についても、避難所としての機能強化を検討します。



写真37: 砂丘温泉ふれあい会館

福部町総合支所と消防団および地域住民で組織する自主防災会が連携し、定期的に防災学習や水防訓練などを実施します。

自主防災会の母体となる自治会の組織力を高めるため、自治会加入率の向上に努めます。



写真38: 水防訓練

### ②通学路の防犯灯の充実

通学路の安全性をさらに向上させるため、まちづくり協議会が事業主体となり、これまで整備がなされていなかった集落間の防犯灯の整備を進めます。

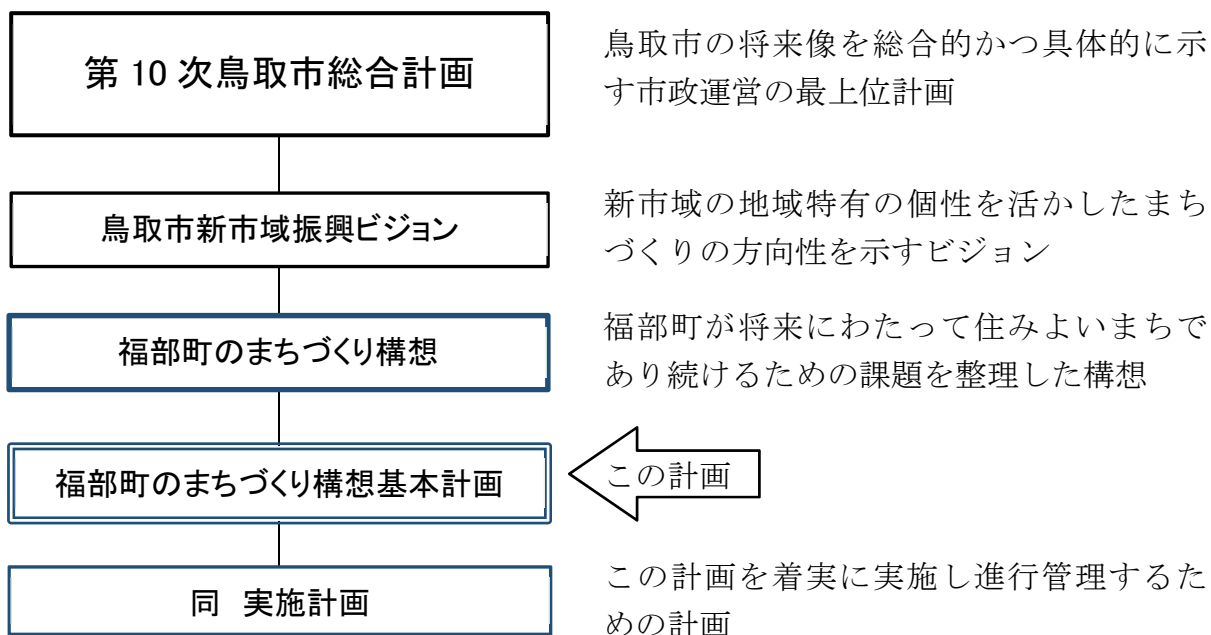


写真39: 防犯灯

## IV. 計画の期間と位置づけ、進行管理

### 1. 計画の期間と位置づけ

この計画の期間は、平成31年度から平成35年度までの5年間とします。  
本市の各種計画との位置づけは次のとおりです。



### 2. 進行管理

#### (1) 計画の見直し

社会経済情勢の変化に伴い、今後、新たに顕在化する課題等に柔軟かつ迅速に対応するため、計画期間内においても、必要に応じて、計画の見直しを行います。

#### (2) 実施計画の策定と継続的な見直し

計画の着実な推進を図るため、3カ年を期間とする実施計画を策定します。  
実施計画については、毎年度、その内容について、有効性の検証を行い、継続的な見直しを行います。

## V. 推進体制

この計画に基づく実施計画の策定ならびに実施計画に基づき行う重要な方針等の検討等に当たっては、地域と緊密に連携していきます。

また、その執行に当たっては、地域住民等へのわかりやすい情報提供に努めます。

### 1. 推進体制

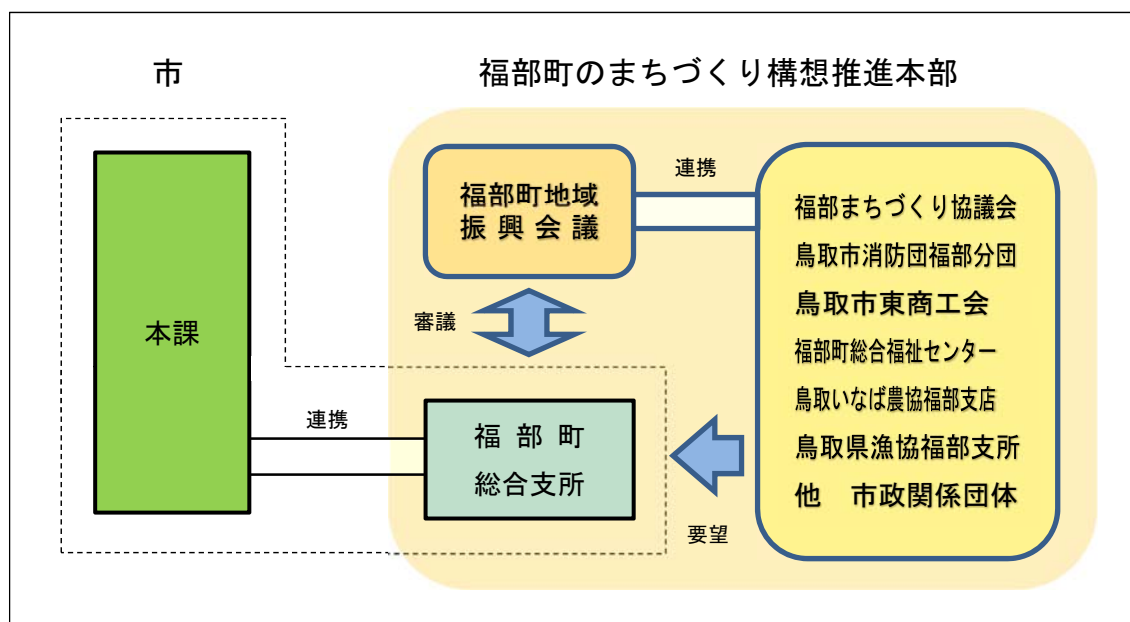
#### (1) 福部地域振興会議

市長が委嘱する委員で構成し、地域振興の推進に関する重要事項を調査審議するとともに、進行状況についての評価を行います。設置期間は平成27年4月1日から平成37年3月31日までの10年間です。

#### (2) 福部町のまちづくり構想推進本部

福部地域振興会議会長を本部長とし、町内の市政関係団体等で構成する推進本部を設置します。この本部では、定期的に会議を開催して基本計画の決定および基本計画に基づき策定する実施計画に関する総括を行います。

図8: 推進体制イメージ図



## VI. 計画策定までのながれ

この計画策定にあたり、次のとおり福部地域振興会議で審議を重ねました。

年 月	福部地域振興会議審議内容など
平成30年4月	第1回会議で福部町のまちづくり構想の完成を報告
5月	第2回会議で構想推進のための基本計画策定を決定
7月	第3回会議で兵庫県養父市のまちづくりを視察
8月	第4回会議でまちづくりワークショップの開催方法を決定
10月	第5回会議でまちづくりワークショップを開催
11月	第6回会議で意見募集の実施方法を決定
平成31年1月	意見募集、第7回会議で実施計画を検討 ※予定
2月	第8回会議で国府地域振興会議と意見交換、計画最終案、実施計画を審議 ※予定
3月	完成・公表 ※予定

福部町のまちづくりについて、地域のみなさんと一緒に考えるためのワークショップを開催しました。



写真 40:意見交換のようす

日 時	平成30年10月17日(水) 13:30~16:00
会 場	福部町コミュニティセンター2階講堂
参加者	地域住民、市職員等32名
意見交換	4名ずつ8グループに分かれて、次の検討課題について意見交換

グループ	検討課題
基盤整備1・基盤整備2	交流のための基盤づくりに関すること
にぎわい1・にぎわい2	にぎわいのあるまちづくりに関すること
福祉1・福祉2	誰もが住みよいまちづくりに関すること
防災1・防災2	災害に強いまちづくりに関すること

## 福部町のまちづくり構想基本計画策定者名簿

所属	氏名（役職）	摘要
福部地域振興会議	南部 敏（会長）	福部町区長会会長
	坪内 悟	福部まちづくり協議会会長
	山本 輝彦	元福部町社会福祉協議会会長
	小谷 孝文	福部地区民生児童委員協議会会長
	岸本 正枝	鳥取市公平委員
	上山 弘子（副会長）	元鳥取県教育委員
	濱田 香	元男女共同参画推進会議 福部支部長
	西尾 祥幸	若手農業生産者代表
	平田 正雄	公 募
	北村 重政	公 募
	若狭 さつき	公 募
	早島 岳大	公 募
福部町総合支所	平戸 伊寿美	福部町総合支所長
	石脇 昭彦	同 副支所長兼地域振興課長
	本家 悟	同 産業建設課長
	森 昌彦	同 市民福祉課長
	米澤 裕治	同 地域振興課課長補佐

## 福部町のまちづくり構想基本計画

編集・発行

福部町総合支所地域振興課

〒689-0102 鳥取市福部町細川668

電話 0857-75-2811

ホームページ [鳥取市公式ウェブサイト内  
福部町総合支所で検索](#)